

第79回Suzuka Voice FM番組審議会 議事録

審議会開催日時 令和5年2月24日(金)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、書面にて審議

番組審査委員：(順不同・敬称略) 森健成 廣田隆延 服部高明 田城朋子
岡本隆典 長橋祐子 川又俊則

委員総数：7名

■鈴鹿医療科学大学の学生が制作する番組「SUMSラジオ」について
議題詳細)

2022年10月24日(月)より、毎週月曜18:30~15分間、鈴鹿医療科学大学の学生有志が大学での学び、学生生活、大学の取組など医療福祉の総合大学ならではの内容の番組を放送している。

今後番組を継続していくにあたり、聴きたいと多くの方に感じてもらえるような番組構成、内容となるよう意見をいただいた。

意見・提案等)

- ・地元大学のことを知りたい方(情報を取りに行くところまでいかない人)がとても興味を持つと思います。学生から直接、学生生活の状況やコロナ禍における苦労話、就職先のこと等(学生獲得のためにもなる)の話を毎回ちりばめてもらえばと思います。ゲストとして教授、助教等も招いて研究科の宣伝でも(学生の主導で変な質問も交えながら)してもらっても面白いのではないのでしょうか？
- ・大学院の紹介と、部活の紹介、健康相談コーナーの紹介をし、その間を音楽でつなぐ構成となっていました。全体を通して、ナレーションが多く、当事者のインタビューが全くなかったのが残念でした。生の声を入れられるように、学生が足で稼ぐようになれば、もっと視聴者が楽しめる番組になるのではないのでしょうか。
- ・学生のトークが方言交じりの親しみやすいものでした。初々しさが新鮮に感じました。
大学院の魅力・サークル活動紹介など、いずれも、鈴鹿医療科学大学の具体的な中身を一般の方々によく知らせることができとてもよかったですと思います。
1回目と5カ月を経験したものと、学生のトークがなめらかになっていたように思いました。
音楽の入り方が唐突(曲紹介無し)な気がしますが、こういうのもありなのではないでしょうか。
- ・2022年10月24日放送分は、二人の学生のやりとりに、中途半端に「鈴鹿弁」を意識しているようなところがあり、かえって聴きにくく感じる場所もあったが、2023年2月13日放送分は、かなりバージョンアップした感があって、聴きやすかった。大学中心の構成になるのは仕方がないことだと思いますが、学生の視点から、鈴鹿市内のいろいろな紹介等が入れば、より多くのリスナーに楽しんでもらえると思います。

※同様の意見についてはまとめさせていただきました。

以上